



# つよい子

令和7年度 学校だより

第12号

余市町立大川小学校

令和8年2月27日

- 【令和7年度 重点目標】
- ◎ 『伝わること』を意識して生き生きと表現する子の育成
  - ◎ 思いやりの心を持ち ルールとマナーを守る子の育成

## アナログと デジタルと

～「不易と流行」の学び～

校長 大山 敏広

- ◆今年度も残すところ一月となりました。子どもたちには、それぞれの学年で学ぶことをしっかりと身に付け、次の学年に進んでほしいと願っています。
- ◆本校の子どもたちの多くは、毎日の家庭学習に取り組んでいますが、時間が短かかったり、習慣化されていなかったりする状況がアンケート結果から見取れました。なかなか子どもだけでは時間を確保したり、内容を工夫したりすることは難しい面もありますので、各ご家庭で生活習慣や学習習慣について話し合い、「自分のめざす姿」に近づくことができるようサポートしていただきたいと思ひます。

### ①基本は生活習慣

早寝・早起き・朝ごはん。テレビ・ゲーム・スマホは、ルールと時間を決めて。

### ②学習の時間を決めて

時間を決めて、毎日のルーティーンとして。

### ③集中できる環境で

きれいな机。正しい姿勢。しっかり削った鉛筆を正しく持って。

### ④必要な学習を見極めて

高学年は、自分で取り組むべき内容を考えられるように。理解している学習に時間をかけない。

心配・不安なところに時間をかけて。

### ⑤毎日の積み重ねを自信に

大人から認め、励まされることが子どもの自信へ。

- ◆時代の変化に応じて、学校での学習内容や学習活動が刻々と変化しています。その一方で、「読み・書き・そろばん（計算）」のように古くから語り継がれ、今もなお、大切にされていることがあります。

### ◆【流行…時代にあわせるもの】

指先一つでほしい情報や答えを見つけることができる便利な時代です。端末やAIを使いこなす力は、これからの社会を生き抜く子どもたちにとって不可欠なものです。ただし、落とし穴があることも謙虚に学び、正しい情報を『かしこく』活用できるようになってほしいと願っています。情報を取捨選択する力・情報の真価を見極める力・情報を自分の考えと組み合わせて活用する力を大人が見守る中で、しっかり育みたいと考えます。

### ◆【不易…変わらないもの】

面倒がらずに文字に触れ、文章を読んだり、鉛筆を走らせ自分の考えを文字に書き表したりすることも当然、大切です。

『書くことは考えること』です。頭で考えたことを見えるようにし、整理したり、見直したりします。このプロセスは、単なる作業ではなく、考えを深めて修正したり、定着を図ったりする作用があります。アナログで一見、古臭く感じるかもしれませんが、書いたり消したりの試行錯誤が子どもの深い知性と粘り強さを形成することにつながります。

- ◆変化や進歩の激しい現代において、このアナログとデジタルの両輪（どちらの経験・学びも大切にすること）こそが、子どもたちの未来を切り拓く力につながるものと考えます。学校では、どちらか一方に限定するのではなく、学習内容に合わせながら、バランスを考慮し、学習展開を工夫できるよう引き続き努力してまいります。



### 心強いサポートに感謝！感激！～スキー学習～

今年度のスキー学習は、皆様のご協力のおかげで、大変有意義な時間となりました。3～6年生・仁木スキーパークでの学習では、4日間で延べ30名もの保護者・地域の皆様に学習支援ボランティアとしてお力添えをいただきました。一人一人に寄り添い、転んでも温かく励まし続けてくださった皆様の存在は、教職員だけでは決して作り得ない、最高の学習環境となりました。

1回目には弱音を吐いていた子も、2回目には「できるようになった！」「もっと滑りたい！」と嬉しそうに話し、楽しそうに斜面を滑り降りる姿が見られました。大きな成長の証であると感じました。

技術的な指導はもちろん、安全面での細やかな目配り、そして子どもたちのやる気を引き出してくださった皆様に心より深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

